

○ テンマ（天麻）

語源

オニノヤガラ属 *Gastrodia* は、ギリシャ語 ガステール「胃」に由来。これは、オニノヤガラの花被が胃のように膨らんでいるため。種小名 *elata* は、ラテン語で *elatus* エーラトゥス「背の高い」という意味。オニノヤガラは大きくなると1m以上にも達することから。和名のオニノヤガラとは、長く直立した花茎を「鬼の使う矢の柄（え）」にたとえたもの。葉のない、まるで棒のような1mもの高さの花茎は、鬼の射た矢が地面に突き刺さっているように見える。別名の「ヌスビトノアシ」は、ホコリのように細かい種子を飛ばして別の場所に発芽し、翌年には地下茎によって別の場所に現れるさまが「盗人のように林を歩き回る」ようであることから。



基原

Gastrodia elata Blume オニノヤガラ（鬼矢柄）

ラン科 多年生草本

雑木林の中の陰湿地に生える腐生ランの一種。塊茎でナラタケの菌糸と共生して栄養分を作るため、葉緑素を持たない。

薬用部分

塊茎を蒸したもの

天麻は高価な生薬のため、ジャガイモを乾燥させた「洋天麻」と称する偽品も出回っている。

産地

中国（雲南、四川、貴州、陝西、湖北など）

中国産天麻は近年野生品の産量が少ないが、人工栽培が可能となり、栽培品の生産が増加している。オニノヤガラは日本にも自生するが、日本産のものは商品として出荷されていない。



主な成分

精油： バニリン、バニリルアルコールなど

主な薬効

鎮痙、鎮痛

代表的処方

漢方処方用薬である。眩暈、四肢の麻痺、痙攣を治す処方に配合されている。

【半夏白朮天麻湯】

ハンゲビャクジュツテンマトウ

体力中等度以下で、胃腸が弱く下肢が冷えるものの次の諸症： 頭痛、頭重、立ちくらみ、めまい、蓄膿症（副鼻腔炎）

（処方内容） 半夏／白朮／陳皮／茯苓／麦芽／天麻／生姜／神麴／黄耆／人参／沢瀉／黄柏／乾姜

【沈香天麻湯】

ジンコウテンマトウ

てんかん、ひきつけ、顔面神経麻痺に用いる。

（処方内容） 沈香／益智／天麻／当帰／防風／半夏／独活／羌活／烏頭／附子／甘草／白僵蚕／生姜

【解語湯】

ゲゴトウ

脳出血後の言語障害に用いる。

（処方内容） 桂枝／独活／防風／天麻／羚羊角末／甘草／附子／酸棗仁

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「漢方のくすりの事典」「日本薬草全書」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562

URL：www.fukudaryu.co.jp